

2022年3月期 第2四半期決算説明資料



ICDAホールディングス

International Conglomerate of Distribution for Automobile

2021年12月1日

(東証二部・名証二部 3184)



2022年3月期 第2四半期決算概要



2022年3月期 第2四半期決算概要

- 国産新車販売台数

 **2,310台** (前年同期比 0.1%減)

- 輸入車販売台数

 **236台** (前年同期比 13.5%増)

- 国産新車…半導体不足の影響を受け一部商品及び部品の供給遅れが発生

- 輸入車…新車種の投入効果

- 中古車販売…既存顧客からの受注が堅調に推移

- 中古車販売台数

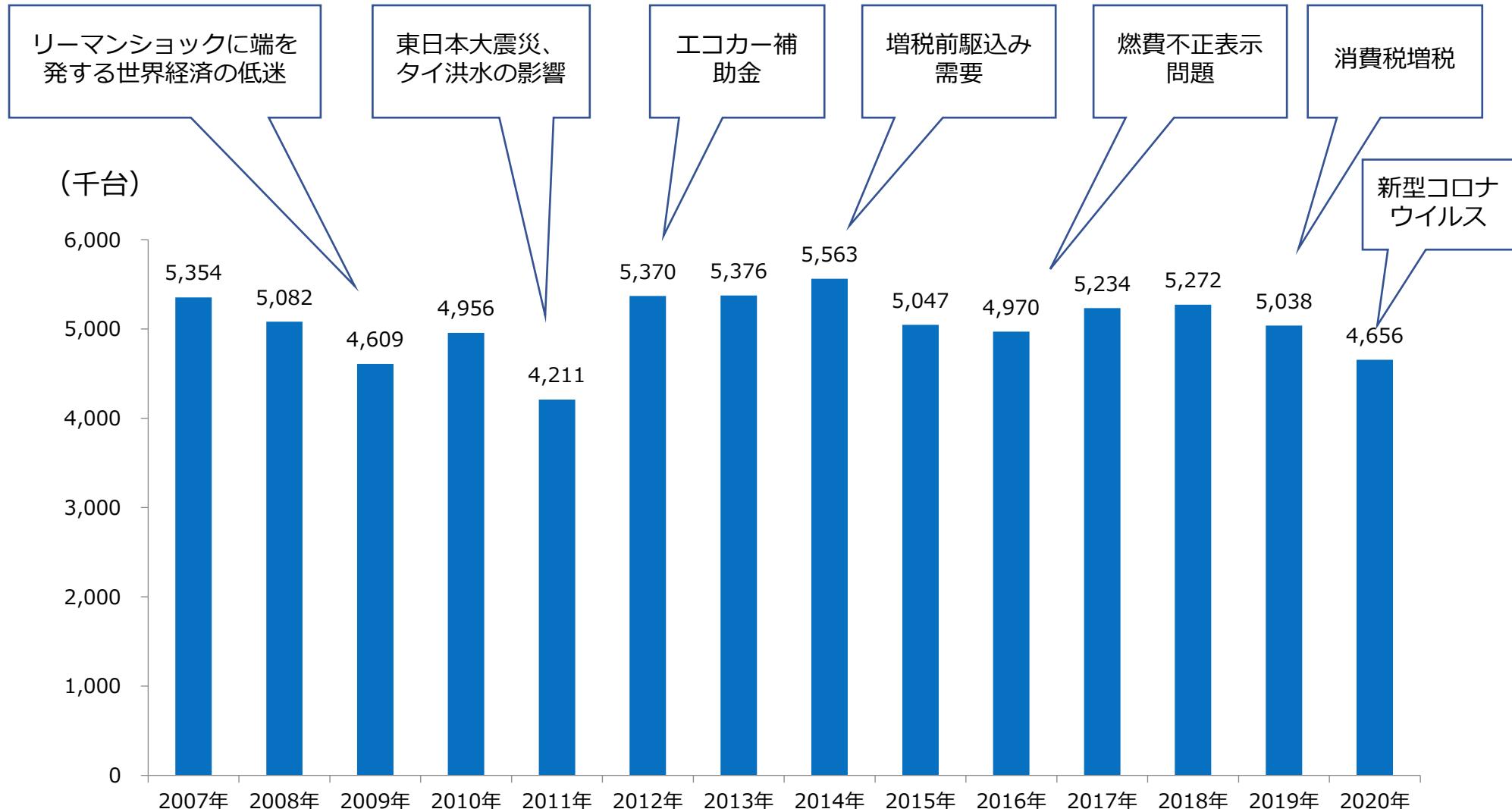
 **4,864台** (前年同期比 4.8%増)

グループ販売台数の推移

(単位：台)

	2021年3月期			2022年3月期			2022年3月期計画		
	上期	下期	累計	上期	下期	累計	前年同期比	累計	前年同期比
国産新車	2,312	2,674	4,986	2,310	—	2,310	 0.1%減	5,100	 2.3%増
輸入車	208	274	482	236	—	236	 13.5%増	550	 14.1%増
中古車	4,640	5,162	9,802	4,864	—	4,864	 4.8%増	10,300	 5.1%増

国内新車販売台数の推移



出所：(社)日本自動車販売協会連合会HP統計資料より当社作成

長期的な営業環境

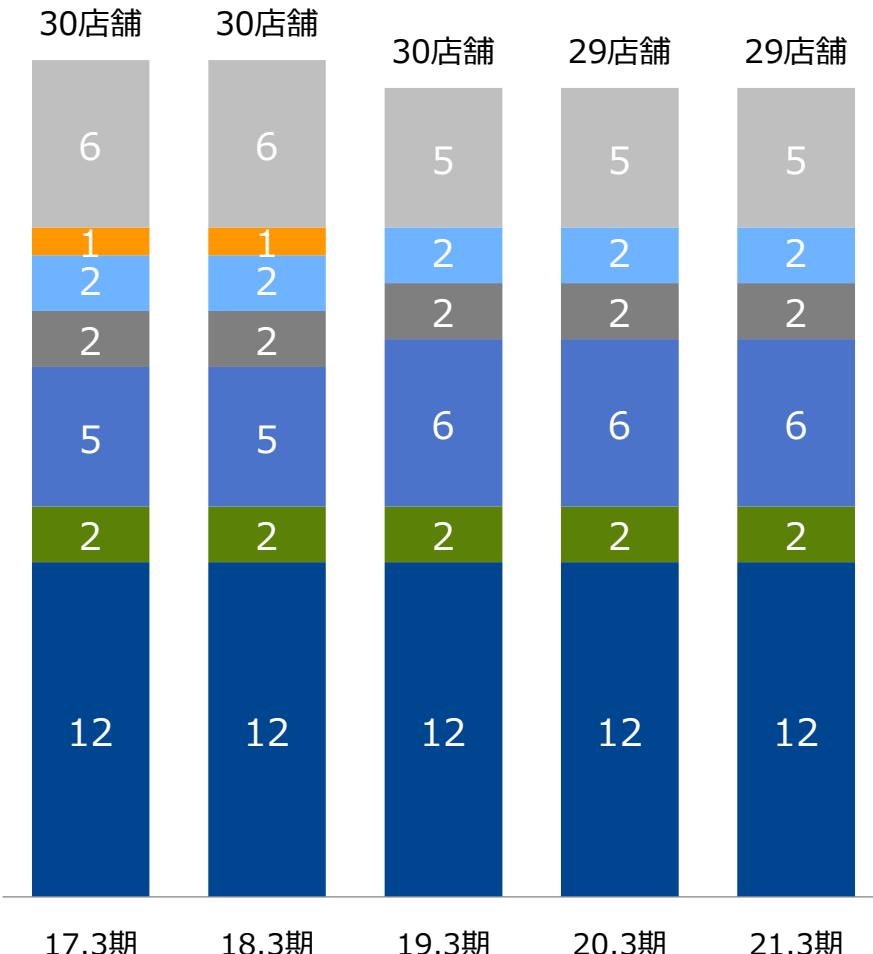
- 自動車の保有台数のゆるやかな微減傾向
- 自動車の長期保有化
- モビリティの変化をもたらす要因
(先進安全装備・次世代エコカー・自動運転車・カーシェアリング・コネクティッドカー)
- 消費税増税における内需落ち込み
- 新型コロナウイルスの感染拡大による景気後退

国内販売台数（新車・中古車・輸入車）の推移

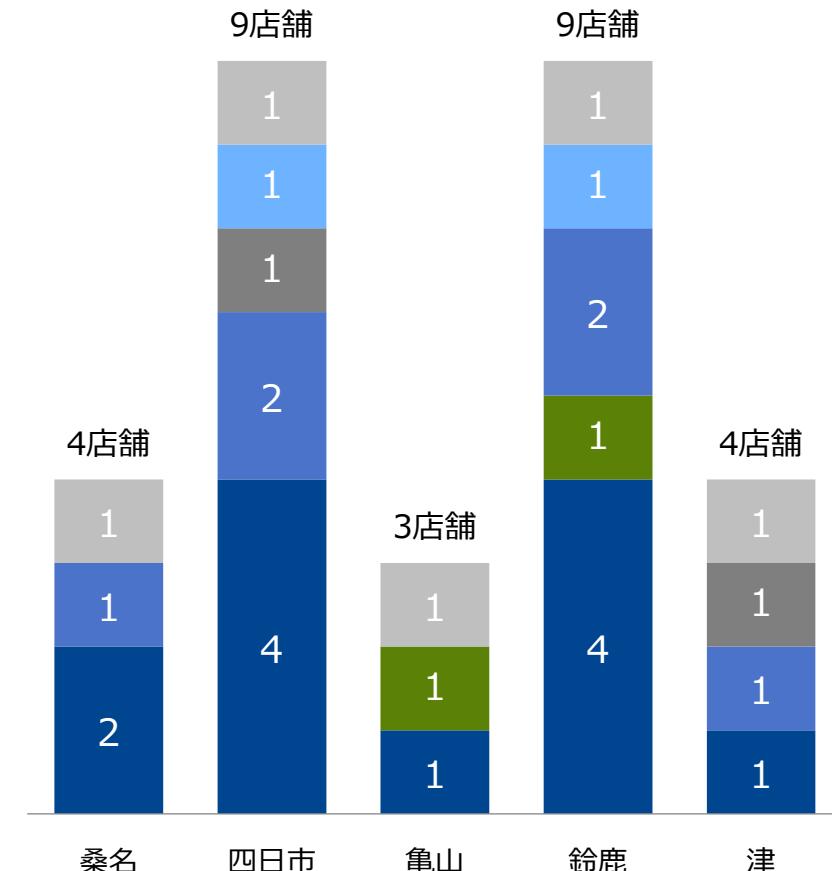
(単位：千台)

	2020年3月期			2021年3月期			累計	前年同期比
	上期	下期	累計	上期	下期			
国内新車販売台数	2,621	2,417	5,038	2,028	2,628		4,656	7.6%減
国内中古車登録車台数	1,891	1,916	3,807	1,848	2,008		3,856	1.3%増
輸入車新規登録台数	176	162	339	136	199		335	1.0%減

出店状況の推移 (5年間)



地域別出店状況



■ ホンダカーズ

■ オートテラス

■ ヴァーサス

■ Audi

■ VW

■ ポルシェ

■ POINT⑤

2022年3月期 第2四半期業績

(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
売上高	12,264	13,465	1,201	+9.8
営業利益	671	805	134	+20.0
経常利益	671	812	141	+20.9
親会社株式に 帰属する当期純利益	450	525	75	+16.8

ICDAホールディングス

(株) ホンダ四輪販売 三重北

- 新車販売
(ホンダ正規ディーラー)
- 中古車販売・買取
(全メーカー)
- サービス

(株) オートモール

- 新車販売
(アウディ・VW正規ディーラー)
- 中古車販売・買取
(全メーカー)
- サービス

(株) マーク・ コーポレーション

- 鈴鹿オートリサイクルセンター

自動車販売事業

自動車リサイクル事業

(単位: 百万円)

		2022年3月期 第2四半期
自動車販売関連事業	新車 (国産車)	5,195
	新車 (輸入車)	1,053
	中古車	4,979
	サービス (車検・点検整等)	1,685
	その他	5
自動車リサイクル事業	自動車リサイクル (部品・資源等)	545
合 計		13,465

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期 第2四半期	増減率(%)
流動資産	4,250	4,207	-1.0
固定資産	10,465	10,435	-0.2
資産の部	14,716	14,642	-0.5
流動負債	6,418	5,982	-6.7
固定負債	1,534	1,447	-5.6
負債の部	7,952	7,430	-5.8
資本金	1,161	1,161	-
資本剰余金	1,148	1,148	-
利益剰余金	4,233	4,653	+9.9
純資産合計	6,763	7,212	+6.6

2022年3月期計画



(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減額	増減率(%)
売上高	26,717	28,000	1,283	-4.8
営業利益	1,460	1,399	-61	-4.2
経常利益	1,456	1,400	-56	-3.9
親会社株式に帰属する当期純利益	788	922	134	+17.0

(単位：台)

販売台数	2021年3月期	2022年3月期	増減額	増減率(%)
新車（国産車）	4,986	5,100	114	+2.3
新車（輸入車）	482	550	68	+14.1
中古車	9,802	10,300	498	+5.1

今後の戦略



- I C D A グループ新車商品センター・中古車商品センター
- 自動車安全運転支援システム体験試乗コース
- 納車センター、P B カー（自主企画カスタマイズカー）製作工場
- 低炭素社会、デジタル化を見据えた、革新的な新車納車整備センター
- 店舗の拡販支援をサポートする施設



約20,000坪の敷地面積（東京ドームの約1.4倍）鈴鹿市八野町

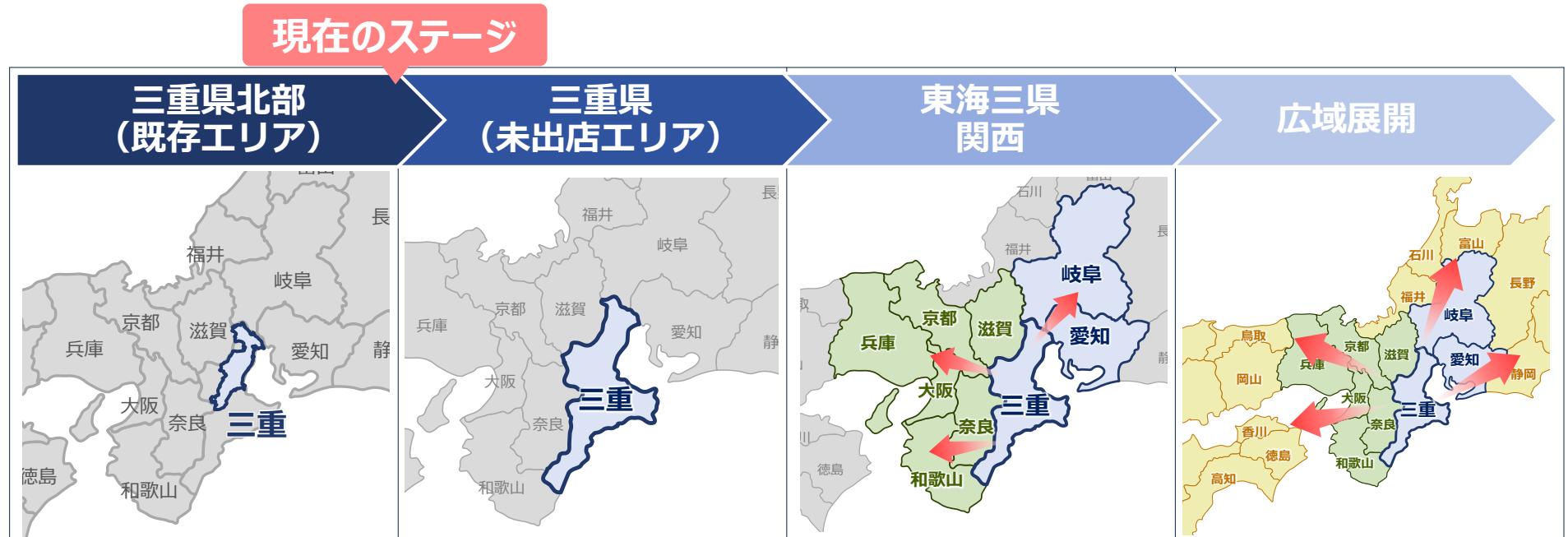
八野モーターパークの活用効果

中古車付加価値の創出

営業効率・収益率の向上

中古車店販売網の拡大

- 出店余地がある三重県での複合型店舗の推進
- 中期的には**M & A**を踏まえ出店エリアを東海三県・関西の近隣地区へ拡大
- 中古車販売・買取を行う独自ブランド P O I N T ⑤を**積極展開**



出店エリア選定基準		
人口3万人以上の都市	交通インフラが未整備な地域	1世帯あたり自動車所有台数 1.0台以上

- 新ブランド「VERSUS PLUS」
- 正規ディーラーと同等のクオリティーを提供
- 高級・高品質ラインへの品揃え
- ネットでの情報発信と先進のネット販売システム構築へ



- 平成29年1月亀山ライフ・ミックス・オートモール（新車・中古車の複合商業施設）オープン
- 大型車検センターによる、高効率化の取り組みをグループ全店へ波及
- 今後、自動車販売だけでなく、スーパー等のテナントを誘致する複合施設へ

ホンダカーズ三重北亀山長明寺店
ホンダオートテラス亀山長明寺
POINT⑤亀山店
リサイクルパーツショップ
大型車検センター



基本方針

**将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、
1株当たり年間配当50円以上を基本に安定配当を継続**

配当の状況

	1株当たり年間配当金	配当性向（連結）
2020年3月期	50円	15.5%
2021年3月期	50円	13.3%
2022年3月期（予想）	50円	11.4%

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

參考資料



社名	ICDAホールディングス株式会社
設立	2009年10月1日
本社	三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1
代表者	代表取締役社長 向井弘光
資本金	1,161百万円
発行済 株式総数	2,099,793株（自己株式207株を除く）
事業内容	自動車販売関連事業 自動車リサイクル事業
売上高	26,717百万円（連結）（2021年3月期）
経常利益	1,456百万円（連結）（2021年3月期）
従業員数	391名（連結）（2021年3月期）

ICDAホールディングス

International Conglomerate of Distribution for Automobile

I nternational 國際的

C onglomerate 複合事業体

D istribution 流通

A utomobile 自動車

**新車から中古車・リサイクルまで幅広く取り扱い、
自動車流通にイノベーションを起こすことを
目指す企業グループ**

ICDAホールディングス

(株) ホンダ四輪販売 三重北

- 新車販売
(ホンダ正規ディーラー)
- 中古車販売・買取
(全メーカー)
- サービス

(株) オートモール

- 新車販売
(アウディ・VW正規ディーラー)
- 中古車販売・買取
(全メーカー)
- サービス

(株) マーク・ コーポレーション

- 鈴鹿オートリサイクルセンター

自動車販売事業

自動車リサイクル事業

我々は、すべての商品に愛情と情熱を持ち、
つねに初心を忘れず、真心をもってお客様に接し
ご満足していただくことを誇りとする。

各種提案



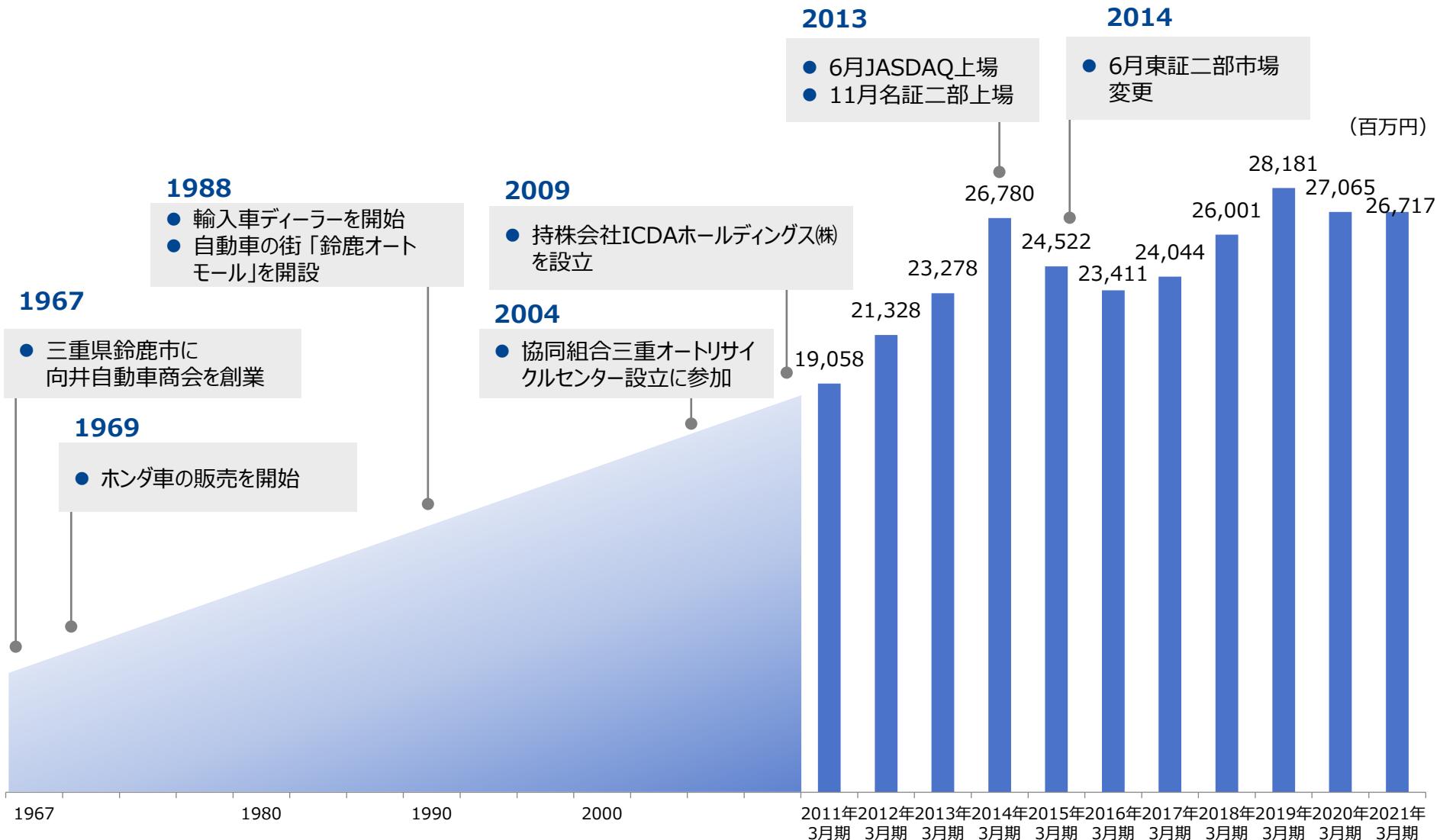
販売



カーライフ サポート



- 三重県を地盤に、業容を拡大しながら持続的に成長

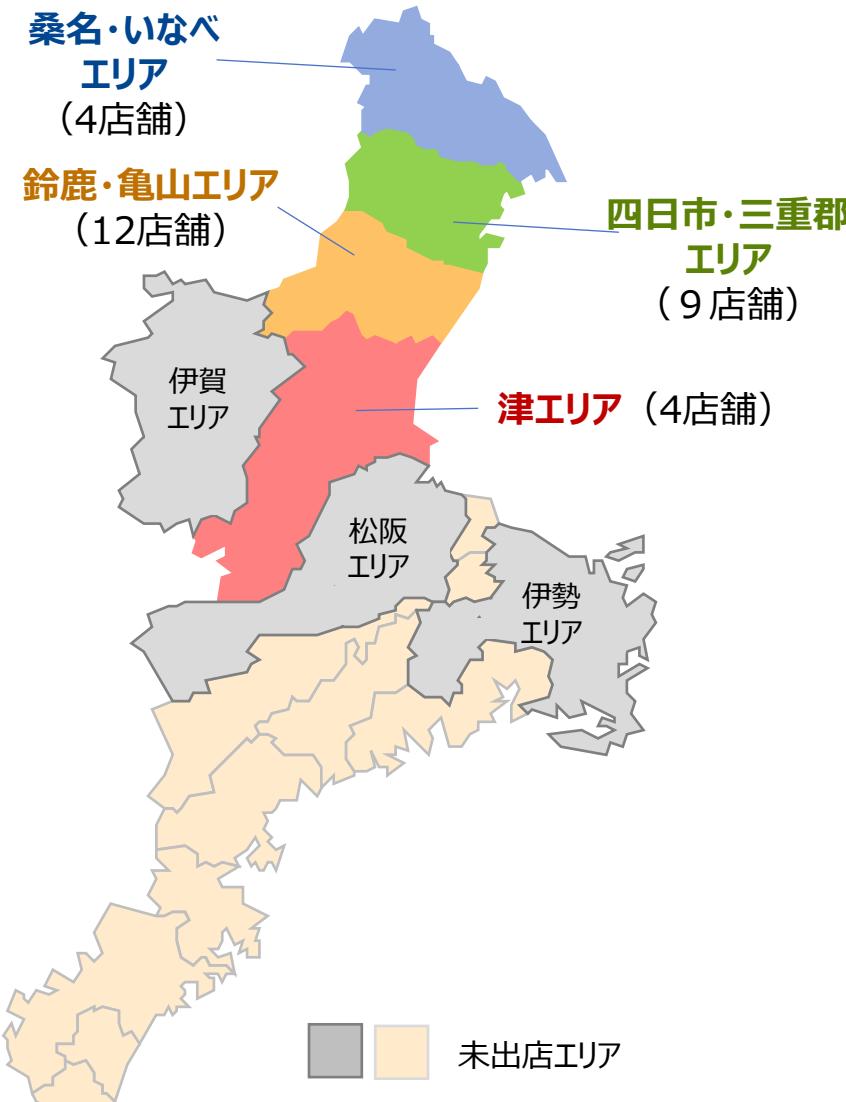


- 様々な価格帯の自動車を取り扱うことで、**幅広い顧客層**にお車を提供することが可能

★はオリジナルブランド

業態名	事業内容	取扱車種例
アウディ三重	アウディの正規ディーラー	A3、A4、Q3、Q5、A8、R8、e-tron
フォルクスワーゲン	フォルクスワーゲンの正規ディーラー	Polo、Golf、T-Cross、Pasaat、Arteon、T-Roc
★ ヴーサスプラス	高級・高品質中古車業態	全メーカー中古車
ホンダカーズ三重北	ホンダの正規ディーラー	N-BOX、フィット、ヴェゼル、フリード
★ ヴーサス	全メーカーを扱う中古車業態	全メーカー中古車
U-Sel ect	ホンダ車専門の中古車業態	ホンダ車中古車
★ POINT⑤	低年式・多走行の中古車販売と買取強化店舗	全メーカー中古車

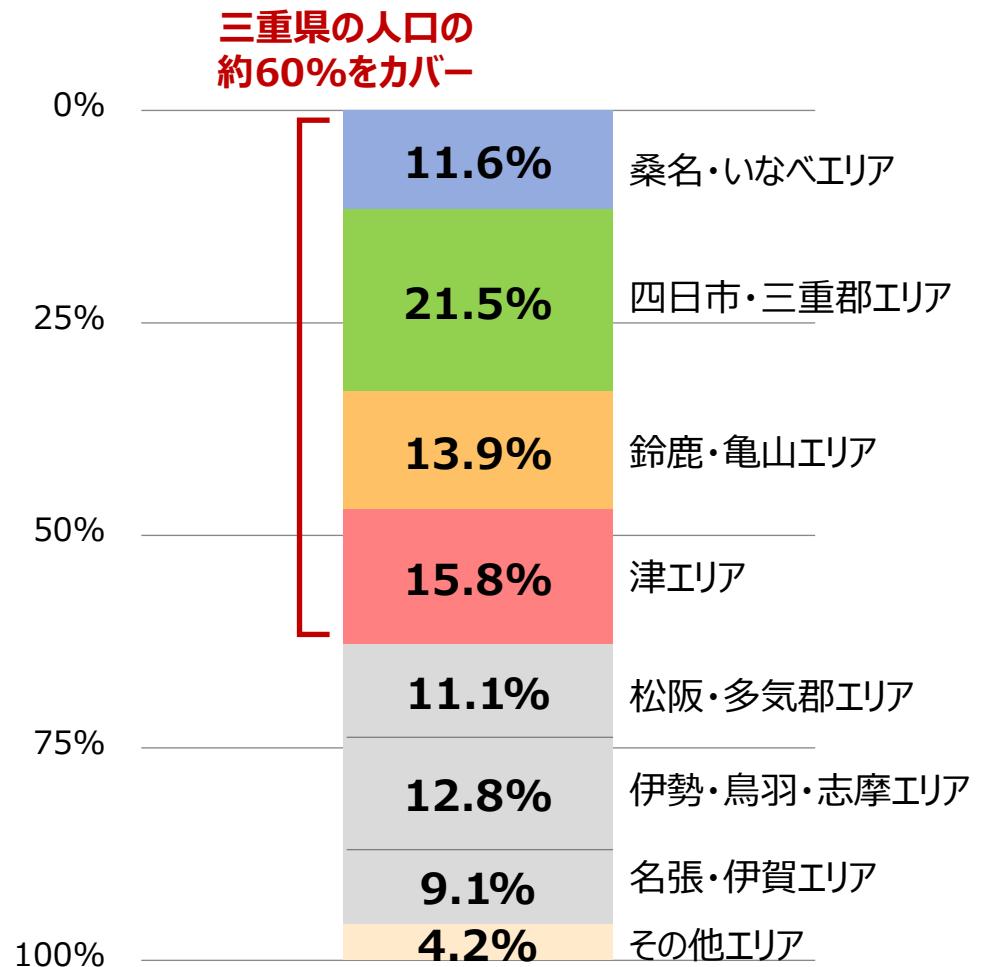
- 人口の多い北部エリアを中心に店舗を展開



出所：三重県公式HP 2021年11月1日現在、「三重県地域別推計人口調査結果」より当社作成

Copyright © ICDA holdings Co., Ltd. All rights reserved.

三重県の地域別推計人口



- 三重県においては、自動車保有台数の増加が続く

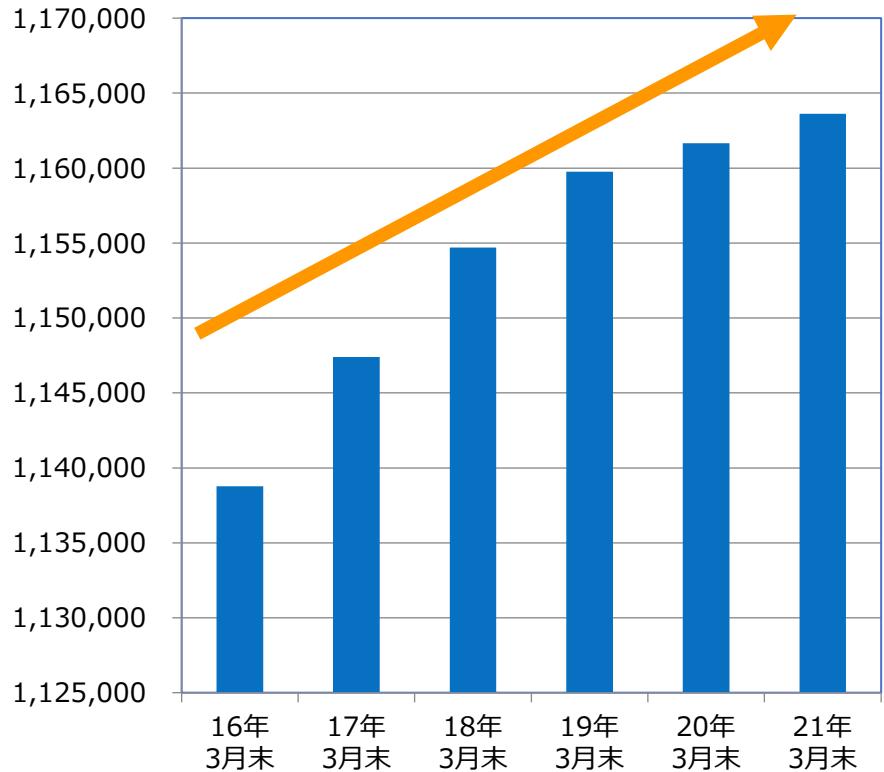
東海三県の自家用乗用車※の普及台数及び保有台数
 (2021年3月末)

県名	普及台数/ 世帯 (台)	全国順位	保有台数 (千台)	全国順位
愛知	1,248	29位	4,205	1位
岐阜	1,553	8位	1,300	18位
三重	1,443	15位	1,163	21位
全国	1,037	—	61,703	—

出所：一般財団法人 自動車検査登録情報協会「自家用自動車の世帯当たり
普及台数」より当社作成

※ 自家用乗用車・登録車と軽自動車の合計

三重県の自家用乗用車保有台数推移



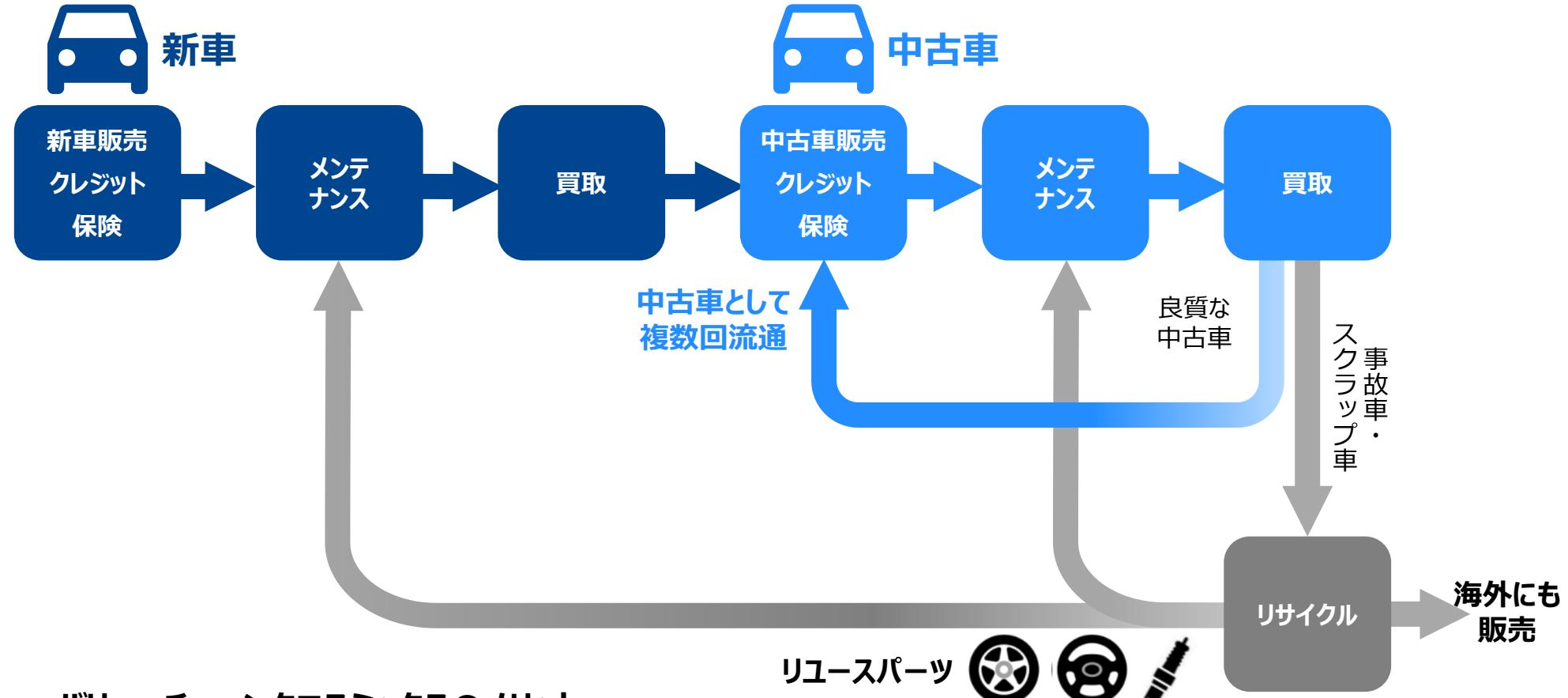
出所：(社)日本自動車販売協会連合会三重県支部「三重県自動車数要覧」より当社作成

- 自社グループにおいて、一連の業務を行うことでお客様への提案内容が拡大



バリューチェーンクロス・ミックスとは？

- グループ間で、新車販売・中古車販売・中古車買取・アフターサービス・リサイクルの流通経路を網羅することで、お客様に向けて商品やサービスの付加価値を最大化



バリューチェーンクロスミックスのメリット

- ✓ 中古車として何回も流通させることで利益を獲得
- ✓ 通常では廃棄される事故車・スクラップ車を解体して低成本のリユースパーツとして活用

お客様のニーズに応じて
新品部品と中古部品の
選択が可能

- バリューチェーンを自社グループで構成することによる効果

① 収益機会の増加



② 独自の中古車流通



③ リユースパーツの活用



④ 店舗開発ノウハウ



① 収益機会の増加

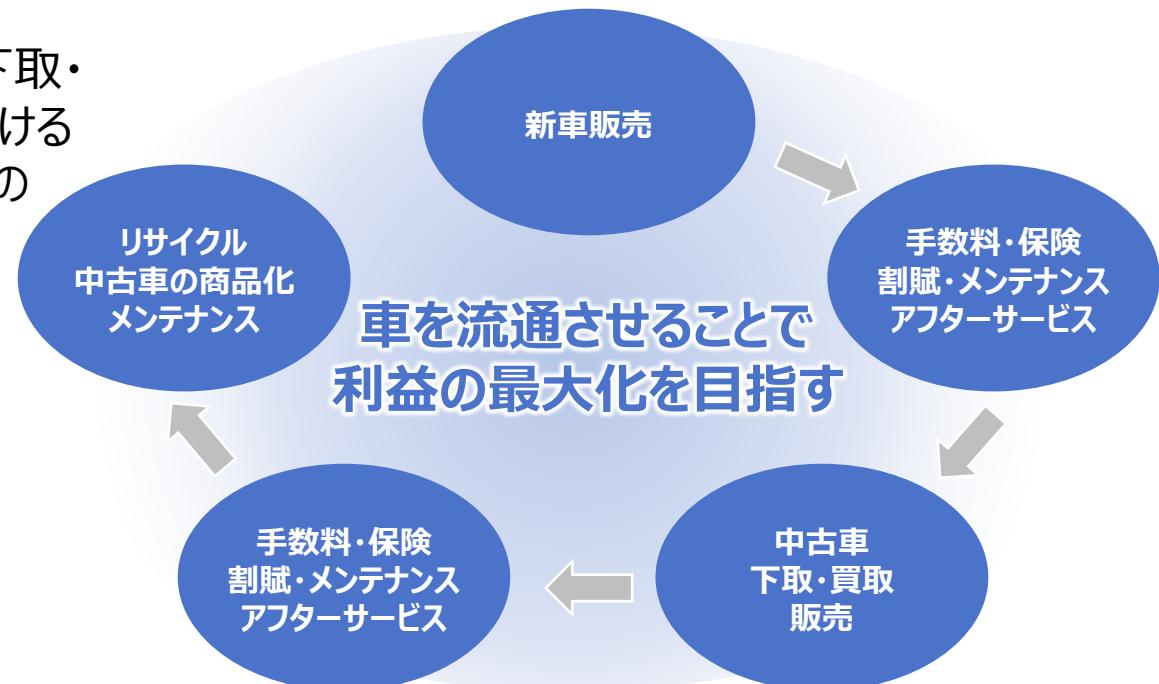
- 一般的な新車ディーラーにおけるバリューチェーンビジネス



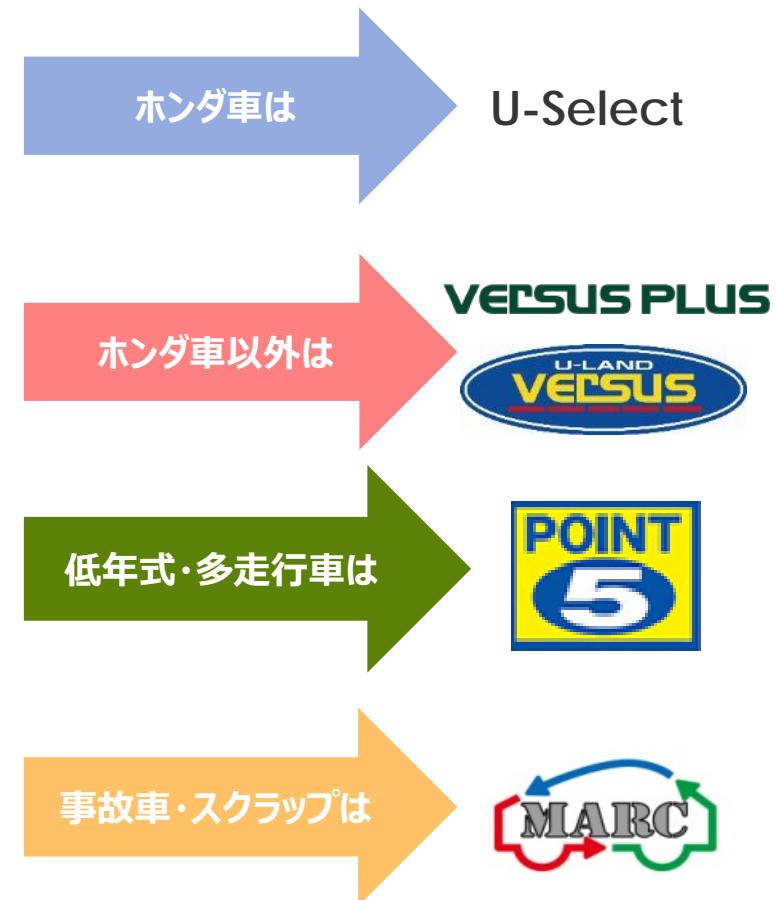
- ICDAのバリューチェーンクロス・ミックスビジネス



- 自社グループにて新車販売・中古車下取・買取・販売、リサイクルを一貫して手がけることにより1台の自動車が流通する際の**収益機会が増加**

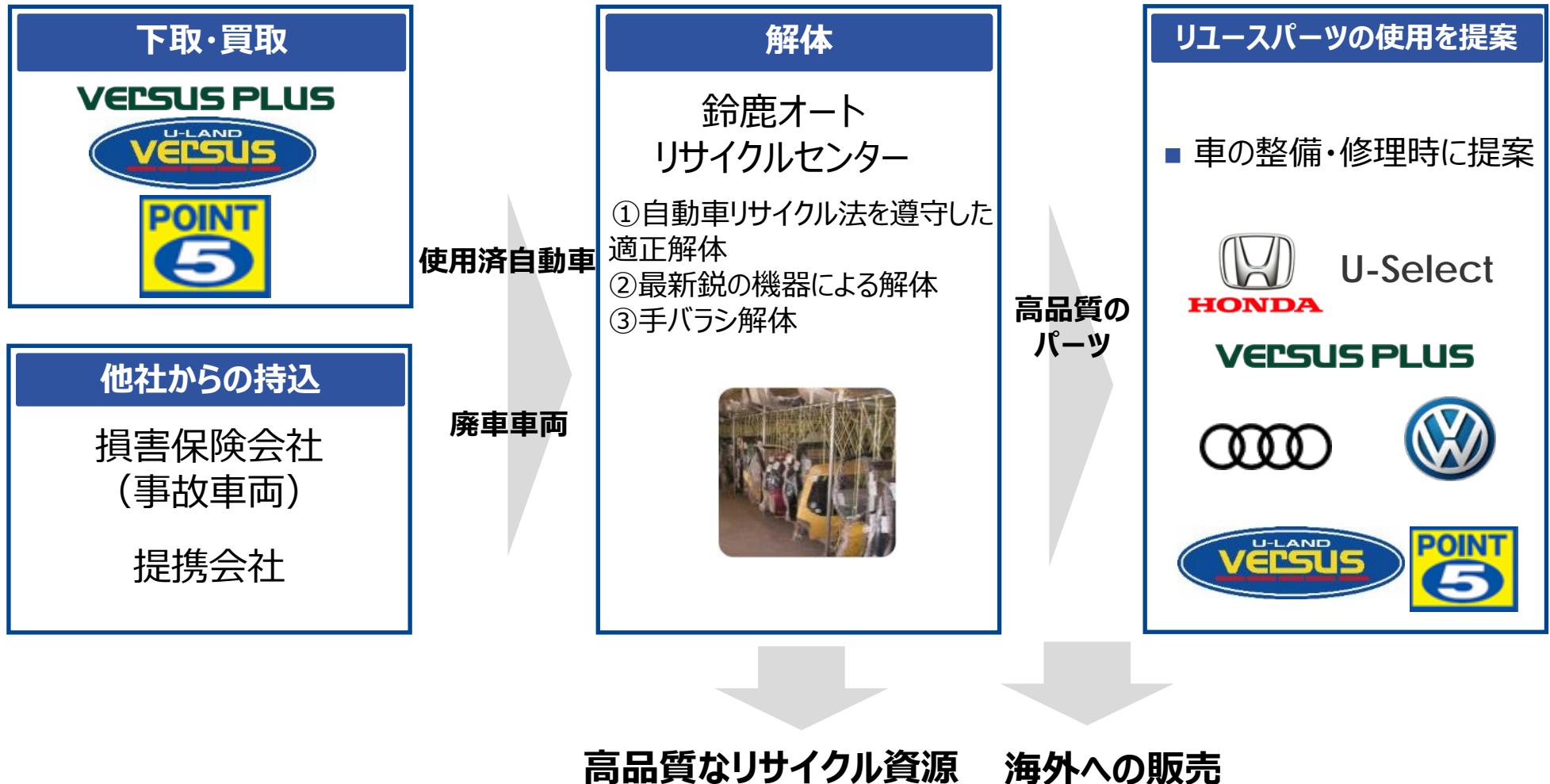


- 車の種類・状態等に合わせ、**グループ内で効率よく流通**



③リユースパーツの活用（顧客満足度の向上）

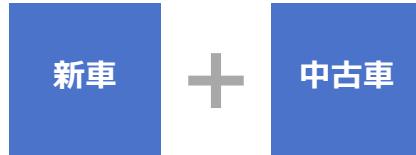
- 品質の高いリユースパーツを提案
- 低成本での修理が可能となり顧客満足度が向上



- 複数のブランドを組み合わせることで**マーケットに合わせた店舗展開**が可能
- 選択肢が多い店舗を実現することで**ターゲット層が拡大**し、**集客力が向上**

(1) 複合型店舗

新車ディーラーを核とした複合型



- ✓ 幅広いターゲットに対応

(2) 小規模併設店舗

POINT⑤と組合せた出店



- ✓ 低コストのオペレーション

(3) 隣接型店舗

他社商業施設内の展開



- ✓ ファミリー層に対応

(4) ライフ・ミックス・オートモール

当社敷地に他社テナントを誘致した
複合施設



- ✓ 幅広いターゲットに対応

- 新車・中古車の異なる業態を組み合わせる複合商業施設（オートモール）を6箇所で展開中
- 地域にあった最適な業態の店舗を組合わせることで、集客力の向上、新規出店費用の抑制へ

単独出店の場合

顧客を取り逃がす可能性が高い

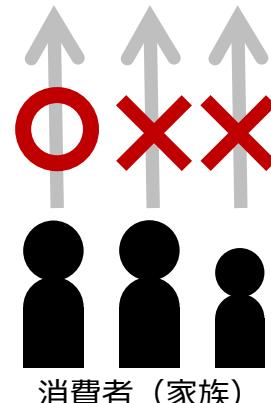
ICDA

複合商業施設（オートモール）の場合

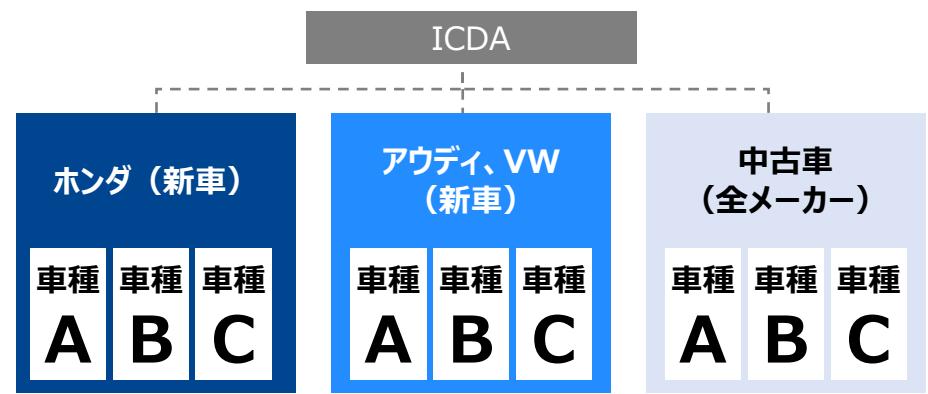
幅広い顧客の取り込みが可能



このメーカーで
買いたい！



選択肢が少ない



ホンダ車

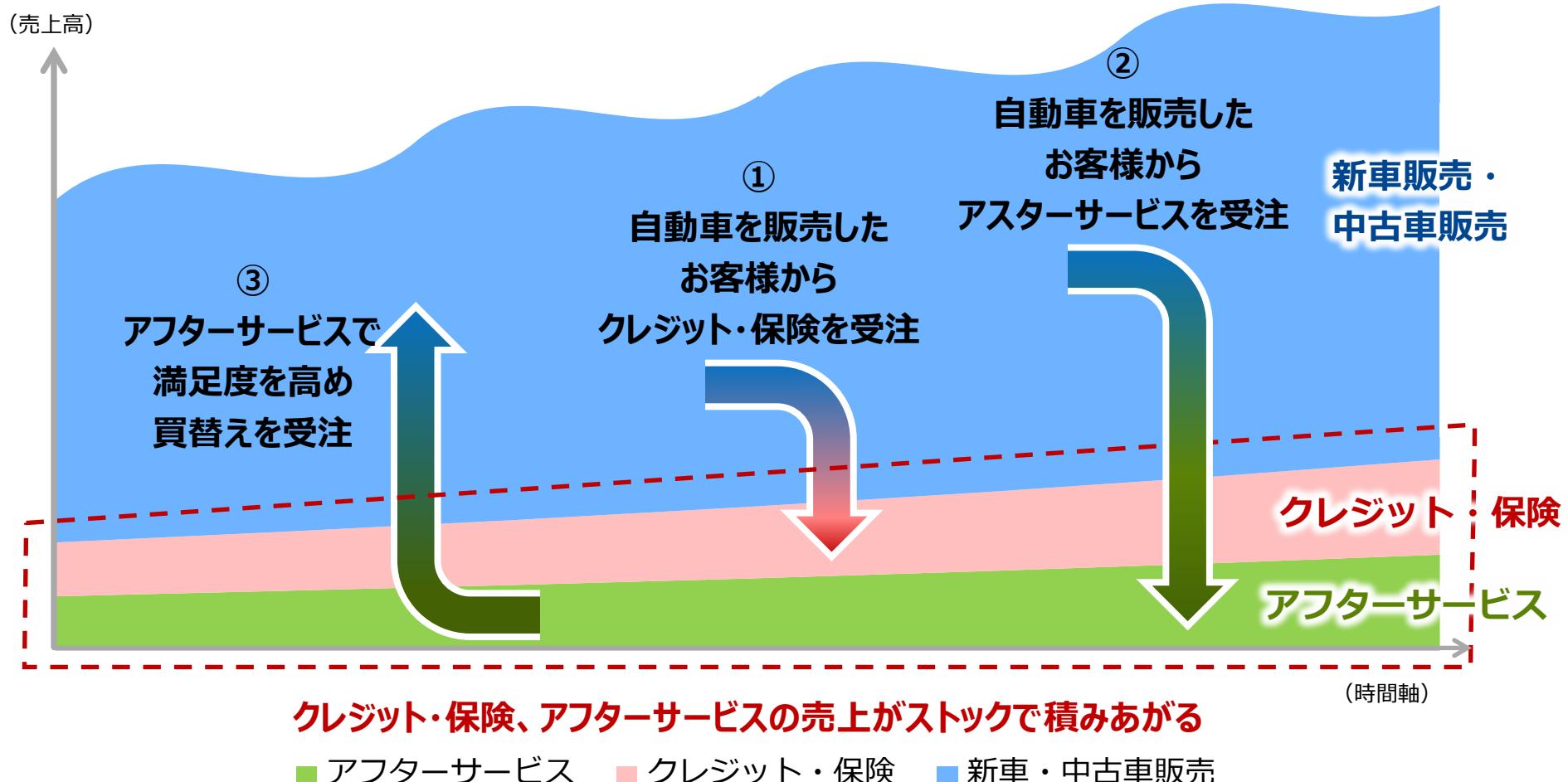
輸入車

2台目需要、
価格重視 など



- 販売、クレジット・保険、アフターサービスの**相乗効果**で安定的な収益を確保

自動車販売事業売上高推移のイメージ

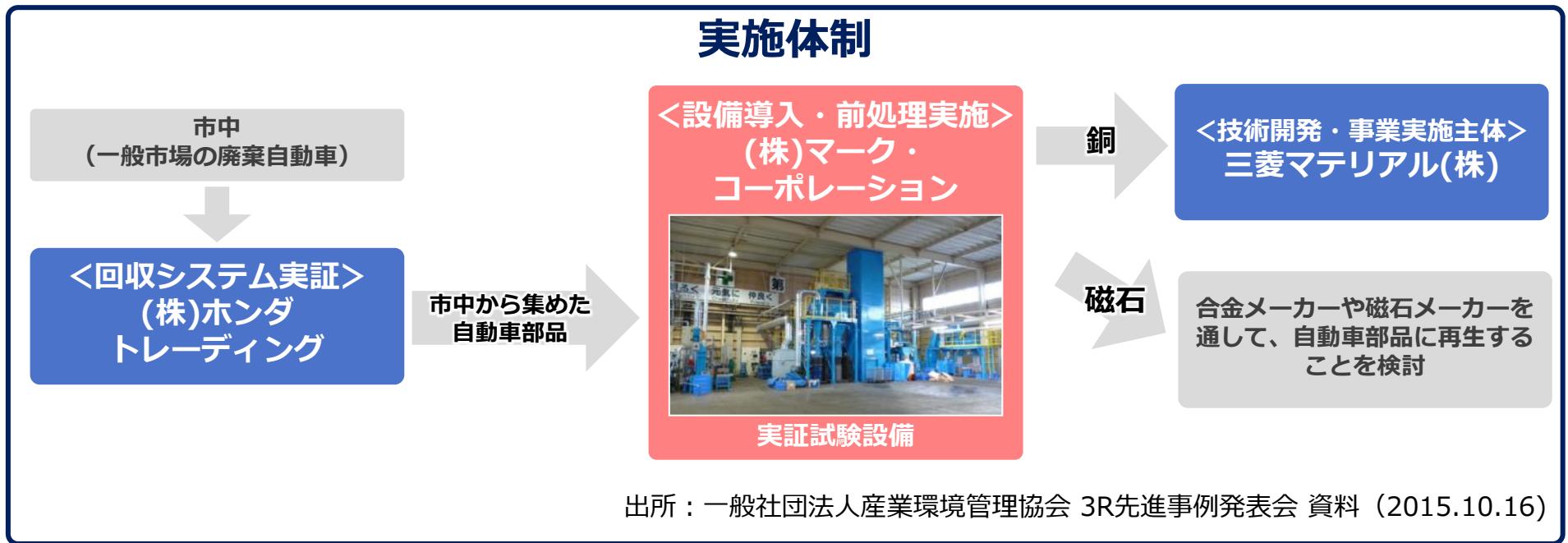


ESGの取り組み



- 当社グループの**(株)マーク・コーポレーション**の次世代事業が、一般社団法人産業環境管理協会主催の「環境循環技術システム表彰」にて「レアメタルリサイクル賞」を受賞
- 三菱マテリアル(株)様と(株)ホンダトレーディング様と**(株)マーク・コーポレーション**の3社で共同で実施したNEDO事業**「使用済み自動車からのネオジム磁石および非鉄金属回収技術開発」**が評価されました。
- この希少金属回収事業は、レアアース及びレアメタルに係わる技術開発やデータ収集といった事業化を順調に進めており、自社生産品だけでなく他社からの素材を回収し、徐々に成果が出ております。

実施体制



- 全国的に珍しい、自動車営業・自動車整備士・サービスフロントに**女子力を活用**
- 女性目線**を活かした商談・接客、自動車整備の効率化



今期、女子サービスフロント登用拠点は11店舗を予定



女子サービスフロント数の推移

地域経済 11版 2014年(平成26年)7月2日(水曜日)

自動車整備に女子力

**追跡
人手不足**

自動車の販売店で、車検や修理を担う国家資格の自動車整備士のなり手が減っている。若者の車離れが進み、養成する専門学校の入学希望者も十数年間で半減。ハイブリッド車(HV)などエコカーの普及で高度な知識を持つ整備士の需要が増える中の人手不足は深刻な課題。獲得に必死の販売店は、女性整備士の採用に活路を見いだすなど模索に乗り出した。(池内琢)

つなぎ姿の小柄な女性が、ボルトを手際よく締めしていく。「ホンダカーズ三重北鈴鹿道伯店」(三重県鈴鹿市)で働く喜多千代美さん(33)は、自動車販売店グループ「ICDAホールディングス」(同)が初めて採用した女性整備士だ。入社四年目で、毎月二百台の車検をこなす。子どもたちのころからスポーツカーが好きで、整備士の道を選んだ。後輩の指導も担い職場リーダーとして忙しい。「少ない応募の中から、良い整備士を採用する必要がある。女性は重要な選択肢だった」と同社副社長の向井俊樹さん(42)。車を修理し、安全を保証する整備士の確保は車販業にとって死活問題。力仕事だが、仕事の改善にも取り組む。喜多さんは道具を駆使し、向井副社長は「整備士の人材不足はこれからも続く。女性を積極的に採用していく」。同グループは既に来年入社の採用で二人目の女性整備士を内定した。



掲載日 中日新聞朝刊 (2014年7月2日) 11ページ
中日新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

鈴鹿で株主をおもてなし

ICDAホールディングスが優待企画



グループで扱う車両計21台を用意した

【津】ホンダ四輪販売三重北を核とするICDAホールディングスが25日、株主を招待して「マイカーラン」を開催。国際レーシングコースを株主が持ち込む車両などで走行する企画で、昨年に続いて2回目の開催となった。同日にサーキット内施設で開催した株主総会後の株主に対する優待企画として実施しているもので、今回は前回の40人を上回る46人が参加した。株主のマイカーラン走行のほか、同グループが取り扱うホンダ車や輸入車なども用意し、株主らは自らハンドルを握る国際的なコースでの走行を楽しんだ。

この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な4輪車でマイカーラン走行する

この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な4輪車でマイカーラン走行する。マイカーランによる走行には、ドライバーの免許や運転免許証、車両登録証明書などの手続が求められる。走行料金は、車両登録料金の2倍となる。走行料金は、車両登録料金の2倍となる。

サーキット走行を楽しむ



選で決定した。
愛知県から参加した投資家

(男性40代)は、「この企画

は今回初めて初めて参加した。

特に自動車車両やモータース

ポーツに関心がある訳ではな

いが、せっかくのチャンスだ

と思い参加した。学生の頃下

レースを観て来たが、その

コースを自分で運転できると

想像するしたこともなかっ

た。今回は素晴らしい体験が

でき、一生の思い出になっ

た。今日は楽しかった。

また、主催者であるICD

ホールディングスでは、

「グループ企業で株主をおも

てなしする日。参加希望者も

増えた。我々もスタッフも

動き、株主とともに楽しむ

日として今後も続けていく

」と語った。

同ホールディングスは、2

013年6月にJASDAQ

に上場。その後11月に名記

2部として昨年6月には東

京証券市場に上場している。

この企画は、「車後」の株主

優待の一環として行っている

もので、来年も株主総会を予定している。



ICDAホールディングス株式会社

当社の株主様を対象に、鈴鹿サーキット国際レーシングコース（5、8 Km）を使用いたしまして、先着車両付きマイカーランを実施させていただきます。

当社グループ取扱車種（※1）をご用意致しておりますので、ご試乗頂くことも可能となっております。数々の勝負舞台となった鈴鹿サーキット国際レーシングコースを自らのドライブでアタックしてみませんか。是非、この機会に、ふるってご参加ください。

（※1）当社グループ取扱車種については、油圧となりますので、第1希望・第2希望・第3希望を申込み用紙にご記入の上、お申込み下さい。

【参加資格】 普通自動車免許をお持ちの当社株主様

【参加車両】 一般公道の走行可能な4輪車両

【日程】 2016年6月22日（水）

【スケジュール】 受付時間 13:30 チームオフィス（詳細は、株主総会終了後にご案内いたします。）
ドライビング 14:00 ブリーフィングルーム（走行に関する事前説明会）
走行時間 15:00～16:00

【会費】 無料

【申込方法】 本用紙の裏面に記載の注意事項、誓約事項をご確認頂き、必要事項をご記入の上、下記お申込先までFAXにてお申込み下さいませ。ご記入頂いたご連絡先電話番号に、当社よりご連絡致します。

【申込先】 ICDAホールディングス株式会社 一般窓口 FAX/059-384-2881
【申込期間】 2016年6月15日（水）20:00まで

【問い合わせ】 申込に関するお問い合わせ先
ICDAホールディングス株式会社 一般窓口 TEL:059-381-5540

走行会に関するお問い合わせ先
株式会社モリタリティランド 鈴鹿サーキット 営業部営業課 担当:川畠
TEL:059-378-1300 (平日/9:00～17:00)



鈴鹿サーキットマイカーラン走行会

掲載日 日刊自動車新聞朝刊 平成27年（2015年）7月3日
日刊自動車新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

- スーパー耐久に参戦するバースレーシングプロジェクトにスポンサーを行い、社員教育の一環として、サービススタッフのレース現場の研修も行っています。
- モータースポーツの生の現場に触れ、憧れの現場を体験して大きな収穫を得ることができました。



Audi RS3 LMS

スーパー耐久とは？

全国（仙台・栃木・富士・鈴鹿・岡山・熊本）のサーキットで年間6戦行われる、日本最大の耐久レースのトップカテゴリーで富士では24時間耐久レースが開催される、アジアを代表する国内最大の耐久レースシリーズです。



2017年2018年2年連続シリーズ3位を獲得
2019年シリーズチャンピオンを獲得

本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により予想と大きく異なることがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先
ICDAホールディングス株式会社
International Conglomerate of Distribution for Automobile

管理部総務課
TEL 059-381-5540
FAX 059-384-2881
URL <http://www.icda.jp/>